

NPO法人 和島夢来考房

DX宣言書

2025年3月14日
NPO法人 和島夢来考房
代表者 久住 郁夫

□ 経営理念

「和島夢来考房」は、地域の力を結集し、地域の様々な財産を後世に伝えていく仕組みをつくり、地域社会に貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して業務効率化を推進し、社員がより創造的で価値の高い業務に集中できる環境をつくります
- ◆ 地域に密着した活動を展開することで、地域にとって必要な場所であり続けます

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年8月)

戦略 「社内業務の効率化・自動化を推進」

- 施策
- ・ 見積書作成から請求書発行までの一連作業を自動化
 - ・ 勤怠管理システムと給与計算システムとの連携を実施
 - ・ 在庫管理をデジタル化し情報を可視化することで、効率的な運用を実現
 - ・ 属人化によるリスクを軽減するため、標準化が可能な業務を特定し、マニュアル作成等を検討
 - ・ 社員全員が自由に意見を出し合える場を設置し、社員の意見が運営に反映される仕組みを構築
 - ・ イベント情報をより多くの方に見ていただけるよう、SNSを通じた情報発信を実施

➤ フェーズ2(2025年9月 ～ 2026年8月)

戦略 「デジタル技術を活用してお客さまとの接点を強化し、ニーズに合ったサービスを提供」

- 施策
- ・ デジタルマーケティングを強化するため、SNSで蓄積されたデータを分析し、改善策を検討、実行
 - ・ AIを活用しながら、商品やサービスに対するお客さまの声を分析し、よりニーズに合ったものを提供
 - ・ 導入済みITツールの社内定着化に向けた勉強会や実務に即した演習を実施

➤ フェーズ3(2026年9月 ～ 2028年2月)

戦略 「多様な地域資源を活用し、新たな付加価値を創出」

- 施策
- ・ 地元生産者と連携し、地域の特色を生かした新商品の開発を検討
 - ・ 地元の新商品や道の駅限定商品をオンラインで提供するため、ECサイトの立ち上げを検討
 - ・ DX推進により捻出した余剰時間を活用して、里山の整備活動等、地域資源を最大限に活用した新規事業を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表者がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 社内勉強会の実施 : 年2回以上(2025年9月～)
- ・ 顧客満足度の向上 : 10%以上増加(2025年9月～)
- ・ AIを活用した商品・サービス開発の開始 : 2025年9月～